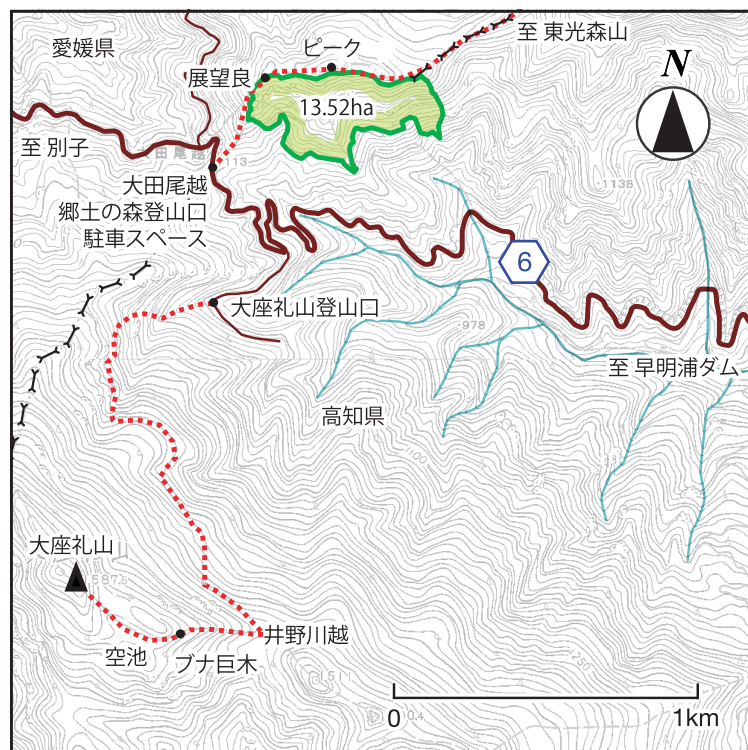


# と さ の て っ ぺ ん 郷 土 の 森

当保護林は、東光森山に広がる冷温帯の植生が見られることが特徴で、ブナやミズナラ、モミ、カエデ類、ヒノキ、ヒメコマツなどが生育し、森林浴などの散策が楽しめます。また、尾根筋の風衝地にはアケボノツツジが生育し、春には花が咲き乱れます。

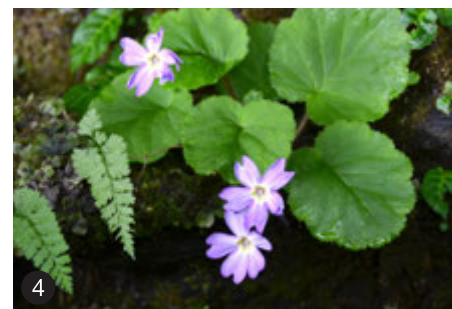


① 保護林の全景。高知と愛媛の県境にあり、四国の水瓶である早明浦ダム上流に位置しています。② ミズナラ。ブナと並んで冷温帯を代表する樹種の一つです。③ ヒメコマツ（ゴヨウマツ）。通常のマツと違い葉が5枚あるのが特徴です。



# こう ち けん も と や ま ち ょ う り ゅ う お う や ま 高知県・本山町竜王山郷土の森

竜王山（通称：立川工石山）は、樹齢約200年のブナやトチノキ、サワグルミなどの広葉樹が生育し、シャクナゲやアケボノツツジなどの花も多数見ることができます。また、地質的にも希少な「紅簾石」の大露頭を見ることができます。



① 紅簾石。紅色の綺麗な石で、高知県庁の玄関にタイルとして使われています。② アケボノツツジ。春にはアケボノツツジやシャクナゲの花を楽しむことができます。③ トチノキ。林内には胸高直径1mを越えるようなトチノキやブナ、ミズメ、カツラ、サワグルミなどの巨木が生育しています。④ イワザクラ。岩の間から綺麗な花を咲かせます。

